

小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画 令和6年度進捗状況の概要

1 計画について

(1) 目的

特別な支援を必要とするこどもたちへの取組を一体化させ、小平市のすべてのこどもたちが生き生きと育っていくことを目指して、保健・医療、福祉、子育て、教育等の関係各課が連携し、乳幼児期から学校卒業後までを見通した特別支援教育を全庁的に推進するための計画を策定した。

(2) 期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

(3) 施策の体系

3つの基本指針「ライフステージに応じた特別支援教育推進体制の整備」、「関係機関の連携によるネットワークの構築」、「理解・啓発、相談体制の充実」に基づき定めた14の基本的施策から、延べ全54事業を展開し、うち延べ11事業を重点事業とした。重点事業の適切な進行管理及びその他事業の充実や継続を推進することにより、本計画の基本理念の実現を目指すものとしている。

2 令和6年度進捗状況の概要

(1) 構成

14施策54事業について、令和6年度進捗状況を報告している。

項目は、基本的施策、事業名、事業内容、方向性、進捗状況（令和6年度実績）及び担当課・事業者を掲載している。

(2) 令和6年度実績

概ね計画に則り順調に事業を実施するとともに、重点事業についても計画内容の推進が図られた。

(3) 重点事業の進捗状況（54事業のうち、次の11事業が重点事業）

①ライフステージに応じた特別支援教育推進体制の整備

ア 児童発達支援センターの設置及び発達支援相談の実施（P.3【1】1-3）

こどもの発達に関する相談窓口の運営を実施した。

イ 学校生活支援シート、個別指導計画の作成と活用（P.5【1】3（1）-3）

令和4年度に作成した教員向け手引きの周知を行い、学校生活支援シート及び個別指導計画の作成及び活用の推進を図った。

ウ 読み書きに困難のある児童・生徒の指導の充実（P.6【1】3-（1）-6）

令和5年度に教育委員会で一括申請したデイジー教科書の積極的な活用について、特別支援教育コーディネーターへの研修を行い、読み書きに困難のある児童・生徒への指導に活用した結果、小学校での使用件数が増加し、中学校での使用も開始した。

エ 合理的配慮の理解・啓発の推進、対応（P.6【1】3-（1）-7）

特別支援教育に関するリーフレットを新入生の保護者に配付し、合理的配慮への理解・啓発の推進を図るとともに、必要な施設の改修を行った。

オ ICT機器の拡充による学習支援（P.7【1】3-（2）-3）

無線アクセスポイントの新設及び増設を行い、学校内におけるネットワーク環境の整備を行

うとともに、読み書きに困難のある児童・生徒への指導及び支援の充実を図るために、特別支援教育コーディネーターにデイジー教科書の活用についての研修を行った。

②関係機関の連携によるネットワークの構築

ア こげら就学支援シートの活用 (P. 10-【2】1-1)

小学校教員、幼稚園の教諭及び保育園の保育士がこげら就学支援シートの活用方法及び就学前からの切れ目ない情報の引継ぎの在り方について情報交換を行った。

イ 副籍交流の充実 (P. 11【2】4-2)

主な交流として、学校だよりの交換、授業参加、学級活動の取組への参加、展覧会への作品出品等を行った。

ウ 学校と放課後等デイサービス間での育ちをつなぐ取組の推進 (P. 12【2】5-3)

各学校において、保護者の要望等に応じて放課後等デイサービス事業者に個別指導計画や学校生活支援シートの情報共有を行った。

③理解・啓発、相談体制の充実

ア 交流及び共同学習の推進 (P. 12【3】1-2)

特別支援教育の理解教育を通常の学級に在籍する児童・生徒に実施し、各校において交流及び共同学習を工夫して推進するとともに、交流及び共同学習の取組について研修会で情報共有を行った。

イ 副籍交流の充実(再掲)

ウ 児童発達支援センターの設置及び発達支援相談の実施(再掲)

(4) 重点事業以外の特徴的な取組の進捗状況

①ライフステージに応じた特別支援教育推進体制の整備

ア 多様な学びの場の充実 (P. 7【1】3-(2)-1)

令和6年4月に小平第四小学校自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設し、指導を開始した。また、令和7年4月の小平第二中学校自閉症・情緒障がい特別支援学級の開設に向けて、教育課程の検討や教室改修工事を行った。

イ 心理士、作業療法士、言語聴覚士による巡回相談 (P. 8【1】3(3)-1)

開設当初における小平第四小学校自閉症・情緒障がい特別支援学級の支援のため、心理士による重点的な巡回相談を実施するとともに、作業療法士の巡回回数を増加し、教員に専門的な助言を行った。

3 今後の予定

市ホームページでの公表 令和7年9月30日(火)